

日本気象学会関西支部 第28期第4回常任理事会概要

出席者：瀬上、塩谷、向川、大澤、藤井、松本、中山（常任理事）、楠田、西、永山、牧田
（幹事）、オブザーバー：里田（全国理事）

日 時：2009年2月6日（金） 15時30分～17時30分

場 所：大阪合同庁舎第4号館 大阪管区气象台16階

議 事

1 2010年気象学会秋季大会について

2010年秋季大会に向けてのおおまかな工程が、前開催地である仙台の例などを参考に担当幹事から説明された。このなかで、当面の課題は大会会場の決定と仮予約がある。会場候補とした「大阪国際交流センター」の見積書によると、本部交付金だけでは大幅に不足することが判明した。理事会では、引き続き（財）大阪観光コンベンション協会からの回答を待ちつつ「大阪国際交流センター」の見積書の見直し作業を進める。同時に、京大関係者へ会場候補の依頼を行った。続いて、今年6月開催予定の2009年度理事会・総会において、実行委員会を設置して具体的な作業に入ることが確認された。

2 第3回地区例会（近畿地区）について

検討の結果、次のように決まった。2月21日（土）13時から17時にかけて神戸大学の瀧川記念学術交流会館で開催し、17時30分からは懇親会を予定。座長は第1セッションを向川理事、第2セッションを松本理事、第3セッションを大澤理事がそれぞれ担当する。当日の受付などは庶務担当で行う。

3 第2回気象サイエンスカフェ報告および第3回気象サイエンスカフェの開催

参加者によると、第2回気象サイエンスカフェは非常に好評であった（HP参照）。この結果を踏まえ、第3回気象サイエンスカフェの開催について話し合われた。開催場所は今回開催した大阪心斎橋の“英国屋”に固定してもよいという意見もあり、テーマと講師については気象予報士会に検討してもらうことになった。開催時期は他の行事との関係もあり今年秋の開催が有力である。

4 2009年度支部独自活動計画報告とその後

2009年度関西支部の独自活動計画として、夏季大学、例会・年会旅費助成、気象サイエンスカフェ、支部調査奨励金、支部発行過去文献の電子媒体化（アーカイブ）を報告し、夏季大学を除き本部から了承された。夏季大学については、例年行っている行事であり、本部からも一定の補助金があるため、関西支部からの報告からは除かれた。

5 その他

(1)本部奨励賞候補者の推薦

向川理事から、優れた気象教育を行っている方として京都市立堀川高校の飯澤先生の推薦が進んでいると報告があった。

(2)物品購入の報告

例会や講演会で使用するノート型PC、緑色レーザーポインタ、ポータブルスクリーン、PC用キャリングバッグを購入した。今後、プロジェクタ、プロジェクタの予備ランプ、事務局用のPC（マック）を購入予定。

(3)天気の地区編集委員の交代

11月30日付けで天気の地区編集委員が堀之内理事の転勤により、岩山理事に交代した。

(4)支部例会要旨集のキーワード記述

現在の支部年会・例会の原稿要旨集には、キーワードのある原稿とない原稿が混在していた。本部の春季大会原稿要領などにもはっきりとしたキーワードに関する記述が見当たらず、キーワードが無くても最近のコンピュータ環境における検索機能充実により論文検索に特に支障がないと思われる。海洋気象学会と共催している近畿の例会では海洋気象学会との間でキーワードが共通化されていない。このことから、関西支部の例会等の要旨集からキーワードの記述を削除する方向で考えることが確認された。原稿作成要領の改正が必要となる。

以上